

# お金の流れ（改善版・草案）

---

## 注意事項

本資料は、

### 「地域施工共同体」

構想における、

### 初期段階のお金の流れ整理

です。

正式運用前に：

- 弁護士
- 税理士
- 社労士
- 行政書士

などとの協議を前提とします。

---

## 現在の建設業界構造

### 従来構造

ゼネコン ↓ 一次下請 ↓ 二次下請 ↓ 三次下請 ↓ 職人

---

## 現在の問題

### 1. 利益構造不透明

- どこで利益が引かれているか見えにくい
  - 中間コスト不透明
  - 原価共有不足
- 

### 2. 支払い遅延

- 支払いサイト長期化
  - 現場毎に条件バラバラ
  - 入金後払い
- 

### 3. 材料立替

- 協力会社負担
- 一人親方負担
- 小規模会社負担

が大きい。

---

### 4. 未払いリスク

- 支払い遅延
- 倒産
- 追加工事未回収

など。

---

## 5. 多重中間コスト

下請層が増えるほど：

- 管理費
- 中間利益
- 情報伝達ロス

が増加。

---

## 新構想

### 共同管理型構造

ゼネコン ↓ 共同管理法人 ↓ 各施工会社

---

## 共同管理法人の役割

共同管理法人は、

### 「新しい元請会社」

ではなく、

### 「施工共同管理基盤」

として機能。

---

## 主な役割

### 契約

- ゼネコン契約窓口
  - 条件整理
  - 契約統一
- 

### 請求

- 請求整理
  - 入金確認
  - 支払い整理
- 

### 入金管理

- 現場別入金確認
  - 入金予定共有
  - 資金流れ可視化
- 

### 支払管理

- 協力会社支払い整理
  - 支払い予定共有
  - 未払い防止
- 

## 工程統合

- 現場工程管理
  - 材料状況共有
  - 人員調整
- 

## 資材共同調達

- 大口交渉
  - 材料情報共有
  - 在庫最適化
- 

## 保証積立

将来的な：

- 未払い対策
- 緊急支援
- 材料不足対応

の為の積立。

---

## 従来との違い

### 従来

各社個別管理 ↓ 情報分断 ↓ 材料不足時に混乱

---

### 共同管理後

現場全体共有 ↓ 材料・工程・支払い統合管理 ↓ 現場停止リスク軽減

---

## 支払いイメージ（仮）

### 受注金額

例：1000万円

---

## 内訳イメージ

### 管理費：5%

用途：

- 契約管理
  - 入金管理
  - 支払い管理
  - 工程管理
  - 事務管理
- 

### 保証積立：2%

用途：

- 未払い対策
  - 緊急支援
  - 材料不足対応
  - 将来的共済機能
- 

### システム維持：1%

用途：

- 在庫管理
  - 工程管理
  - 原価管理
  - 支払い管理
  - 情報共有
- 

## 実施工費：92%

各施工会社へ：

- 工事内容
- 工程
- 責任範囲

に応じて配分。

---

## 重要事項

### 数値は仮設定

現在の数値は：

#### 「概念整理用」

です。

正式には：

- 参加会社
- 法務
- 税務
- 会計

と協議し決定。

---

## 本構想の重要思想

#### 「中抜き構造」

を作る事ではない。

---

## 目的は

- 支払い安定
- 未払い防止
- 材料安定
- 原価可視化
- 現場停止防止

を共同化する事。

---

## 材料立替問題への対応

現在：小規模会社 ↓ 材料先払い ↓ 入金待ち ↓ 資金悪化

が発生。

---

## 共同管理後

- 共同調達
- 支払い整理
- 入金管理

により、

## 「末端だけが資金負担する構造」

の改善を目指す。

## 今後重要になる可能性

今後は：

- 材料不足
- 原価変動
- 支払い不安
- 人不足

により、

## 「現場を最後まで止めずに回せる組織」

の価値が高まる可能性があります。

## 本構想の本質

本構想は、

単なる：

共同購入 人工出し 新しい下請構造

ではありません。

## 本質は

### 「施工共同インフラ」

です。

## 最後に

今後の建築業界では、

- 材料
- 人
- お金
- 工程
- 情報

を、

### 「現場全体視点」

で管理する必要性が高まる可能性があります。

その為、

### 「施工共同管理基盤」

としての共同体構想が必要になる可能性があります。

更新日: 2026-05-06 18:06 JST